

新成堂(神奈川県)

チェーン薬局向け勤務シフト・勤怠管理システム「SHIFT Manager」を導入

面倒なシフト計算や勤怠管理もこれさえあれば鬼に金棒！

神奈川県横須賀市を拠点に、8店舗の調剤薬局をチェーン展開している新成堂（新関一成社長）は、昨年12月、EMシステムズのチェーン薬局向け勤務シフト・勤怠管理システム「SHIFT Manager」を導入した。面倒なシフト作成や勤怠管理の作業効率が大幅にアップしただけでなく、給与計算ソフトと連携させたことで、経営面から見ても偉大なる“助っ人”を得たと実感するほど役に立っているようだ。

PC環境があれば、簡単に導入できる！

EMシステムズが、従業員の勤務シフト作成や勤怠管理を簡単に行えるチェーン薬局向けシステム「SHIFT Manager」の発売を開始したのは昨年12月。従業員の出退勤の記録はすべてパソコンに、従業員ごとに発行されたIDとパスワードを入力して行うため、タイムレコーダーは必要ない。入力データはインターネットを通じて、サーバーで一括管理されるため、一人ひとりの勤務状況を本部がリアルタイムで把握できるようになっている。ASP形式のため、既存のパソコンで活用できる気軽さも魅力だ。

同社は、「1年前、チェーン薬局様へアンケート調査を行ったところ、手間のかかる煩雑な勤務シフト作成や勤怠管理を効率化したいというご要望が圧倒的に多かったので、その声に応えられるシステムを、と

いうことで開発を進めました」と経緯を語る。「他業態と異なり、調剤薬局チェーンでは一人ひとりの雇用形態が違い、シフトパターンもさまざま。なおかつ、業務応援のため店舗間の行き来も多い。この調整と状況把握が実に複雑で大変です。そこを解消し、かつ業務の効率化を推進するサービスとしてご提供できればと考えました」と話すのは同社代表取締役専務の青山明氏。

そしてこの「SHIFT Manager」をいち早く導入したのが、新成堂（神奈川県横須賀市）だ。

煩雑な勤怠管理を何とか合理化したかった

処方せん調剤を主体とする新成堂薬局チェーンは、横須賀、横浜を中心に現在8店舗を展開。特に訪問服薬指導に力を入れており、医師の指示を受けて、患者宅やグループホームを訪問し、薬剤師が直接服薬指導



新成堂 代表取締役 新関一成氏

を行うなど地域に密着した医療サービスの提供に努めている。従業員は正社員、パートを含めて約55人。薬剤師と事務スタッフは半々で、各店舗に5～6人の割合で配置している。

「シフトは一人ひとりまったく違い、処方せんを主に応需する近隣医療機関の時間帯に合わせているので、店舗ごとに勤務パターンもそれぞれ。それでも、シフトは何とかうまく組めてはいたんです。ただ、どうしても、勤務時間の多い人とそうでない人の差が出てしまうので、その不公平感をなくしたかった。時間給で働く従業員には、シフトのばらつきが即給与のばらつきに繋がり、結果、従業員のモチベーションが下がるようなことにもなりかねない。また、何より大変なのが勤怠管理。本部で一人ひとりの状況を把握し、一括管理できないものかとずっと考えていました」と新関一成社長。そのため、独自のシフト管理システムをソフトウェアハウスに作ってもらったこともあった。

「それが全然使えなくて。結局、紙で勤務シフト表を作り、それを入力するという作業を続けていました。そんな矢先、EMシステムズから「SHIFT Manager」が発売になる



E Mシステムズの「SHIFT Manager」

ことを知り、すぐに導入に踏み切った。

「7年前から、E Mシステムズのレセコンは導入していました。他社のレセコンを使っていた時期もありましたが、一番操作が簡単で、誰でも使いこなせるところが決め手でした。実際、E Mシステムズのレセコンにしてから、スムーズに作業が進み、スタッフの定着も良くなりました。ですから、E Mシステムズの製品に対しては絶大な信頼がありました」と新関社長。新成堂への導入を担当したE Mシステムズの白井氏も「『SHIFT Manager』は、すでに稼働中の給与計算システムとの連携も可能。そのあたりも大きなメリットとしてとらえていただけて、うれしく思っています」と言葉を添える。

優秀な人事部長を 確保したくらい心強い

では、実際の使い勝手はどうか。「勤務シフト作成が簡便化されたのはもちろんですが、何より良かったのはやはり勤怠管理を本部で一括してできることです」と新関社長。タイムカードの場合、不明な点があっ

てもなかなか確認は難しい。万一、給与計算に間違えても起きれば、社員の勤務意欲を下げってしまうことにもなりかねない。「それが、コンピューターで勤務時間を管理するわけですからまず不明点がなくなりますよね。作成されたシフト表や、勤務実績の途中集計と累積残業時間も、リスト形式で表示されるため、非常にクリアでコントロールしやすくてきています」(新関社長)。副社長であり、総務・経理全般を担当する新関智美氏も「本当に助かっています。今まで、タイムカードを回収し、それをもとに給与計算をしていたのですが、これがもう本当に大変で。でも、この『SHIFT Manager』を既存の給与計算システムと連動させたので、勤務実績の集計から給与計算まで、全てが自動化されました。計算間違いもなく、圧倒的に作業は軽減されました」と語る。

これまで小規模な企業のためで進めてきていたが、いつしか8店舗を展開するまでに成長し、従業員も急速に増えていった。にもかかわらず、本部機能が現状に対応できていなかったと、新関社長は振り返る。

「ですから、白井氏からこのシステムを紹介してもらった時にはまさに棚からぼたもち(笑)。これだ！と思いましたね。経営者としては、優秀な人事部長を一人確保したようなものです。各従業員の勤務実績をリアルタイムに把握でき、どれだけの人件費が今必要なのかも瞬時につかめるのが何よりうれしい」と太鼓

E Mシステムズ 代表取締役専務 青山明氏(左)
横浜支店 営業係長 白井達氏

判を押す。

「調剤薬局経営の運営費で一番コストがかかるのが人件費。全体の8割くらいでしょうか。その数字がリアルにつかめるわけですから、資金の段取りもしやすい。おのずと次なる経営ビジョンも展開しやすくなるわけです」(新関社長)

インターネットを通じてデータをやり取りすることから、セキュリティに対して心配はないかとの問いに「まったくないです。『SHIFT Manager』に限らず、E Mさんはいろいろなインターネットを使ったサービスの実績があるので、そのあたりはもうプロにお任せしています。既存のレセコンでも信頼度は高く今後も安心して使わせてもらいます」と新関社長は言う。

「我々は今後もチェーン薬局様向けのサービスや商品をたくさん提供していきたいと考えております。新商品や既存システムのバージョンアップなどについてもいろいろなアドバイスをいただき、レセコンや電子薬歴のみならずさまざまな角度から、チェーン薬局様のお役に立ちたいと思います」と青山氏は結んだ。

お問い合わせ先：株式会社E Mシステムズ
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル
TEL 06-6397-1888 FAX 06-6397-1890
<http://www.emsystems.co.jp>